

長、幹事、副会長が出席しました。

「合同親睦会がマンネリ化していないか」「地域に対して如何なる奉仕をすべきか」について意見交換しましたが、各クラブから活発な御意見が出まして、非常に勉強になり意義ある会合でした。

RI会長より、ロータリー財団ポリオプラスに貢献された吉井俊介さん、銅冶 倫さん、渡渡宏策さんに表彰状が来ましたのでお渡しします。

新しく入会されました㈱おやなぎ木工社長小柳恵司さんに御挨拶をしていただきます。

幹事報告： 内山(辰)幹事

◦例会変更のお知らせ

- 三条南RC 6月27日(月) 魚作(会長、幹事慰労会の為) PM6:30~
- 三条北RC 6月28日(火) 三条ロイヤルホテル(会長、幹事慰労会の為) PM6:30~
- 白根RC 6月23日(木) 金長 PM6:00~
- 村松RC 6月14日(火) 日枝神社清掃の為早朝例会
6月21日(火) 木むら PM6:00~

◦新発田RCより 県下ロータリークラブ親睦ゴルフ大会参加お礼状がとどいております。

◦安藤ガバナー事務所より ガバナー月信「No.12」がとどいております。

新入会員紹介：

五十嵐 力会員



㈱五十嵐プレイヤー社長
昭和10年9月25日生
家族構成 妻、四女
趣味 ゴルフ

小柳恵司会員



㈱おやなぎ木工
昭和16年12月22日生
家族構成 妻、長男、長女
趣味 つり

ニコニコBOX ¥9,000

高橋(一)君 外山君再度の卓話御苦勞様です。
小柳君の入会を歓迎して(財団委員長として)



近藤君 過日、父の一周忌を無事終了させる事ができました。一年は本当に早いものです。ありがとうございました。

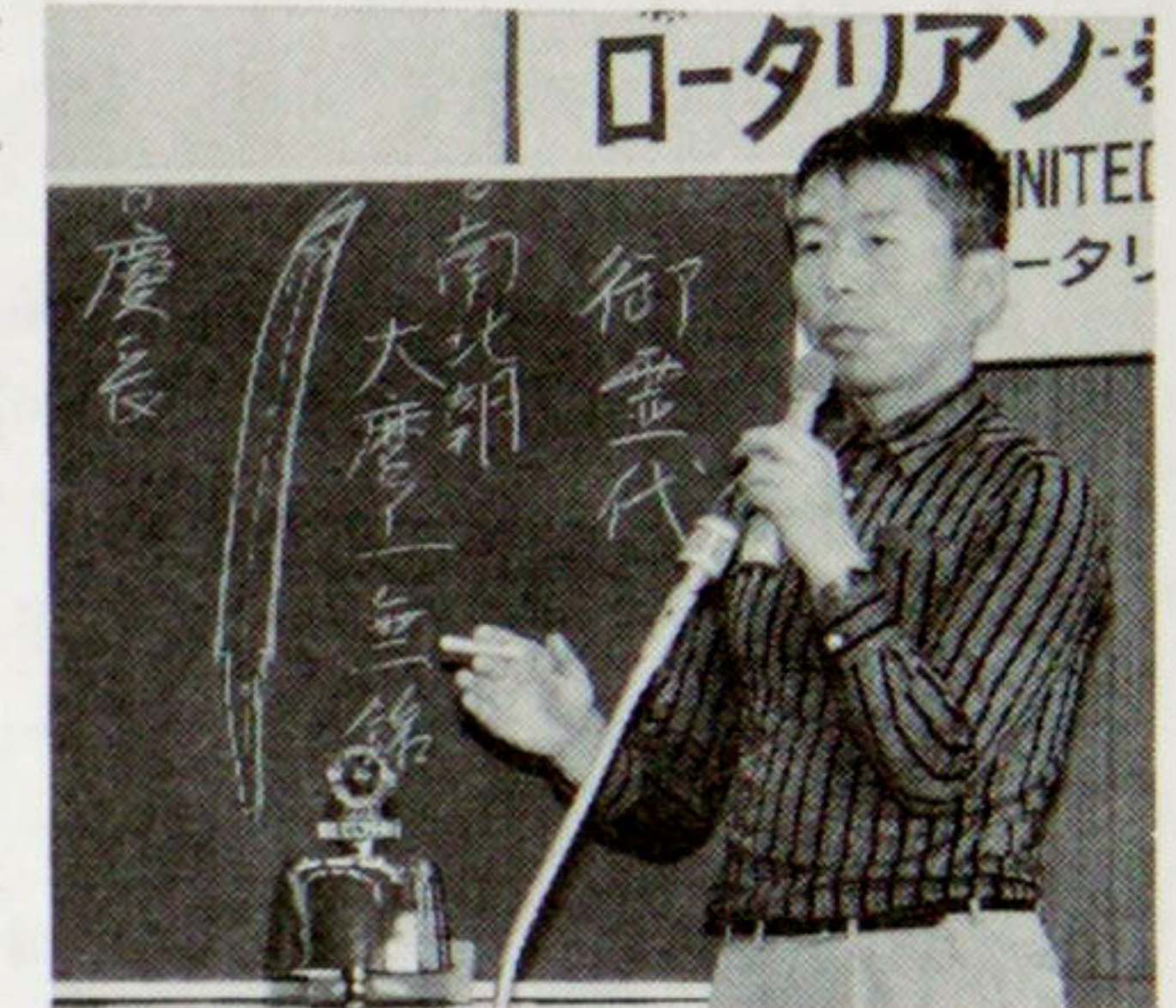
丸山君 急用で例会を早退させていただきます。

松谷君 海外出張で2回休ませてもらいました。親睦委員の皆さん御迷惑をおかけしました。

卓話： 郷里の名工 栗原信秀 パートII

外栄金物㈱社長 外山 登殿

古刀、新刀、新々刀にはそれぞれ時代ごとの特徴がありますが、新々刀の姿は帽子(切先)伸び、心に身巾広く、元と先の中が変わらない、豪壮な姿となり、これは風雲急な幕末の時代を反映しており、古刀期の南北朝期の長大な太刀の大磨上おすりあげの姿と、新刀初期の慶長期の刀の姿と同じです。又、刀の伝統は五ヶ伝と言う製法がありますが、信秀は師匠清磨ゆづりの相州伝の名工です



明治になってからの信秀の多くの作品の中で、特筆出来るものは明治2年神戸に湊川神社が建てられましたが、ここは天皇家にとって第1の忠臣とみなされている楠正成を祀っており、天皇は信秀に刀を打たせてここに寄贈しています。明治5年には天皇の命により佩刀等18振を打っており、明治6年にはウィーンの万国博に出展するため、他の2人の刀工と共に信秀も政府の注文により出展刀を作っています。

そして明治7年には招魂社(後の靖国神社)の御霊代みたましろの鏡と剣を打ち上げ、これが錦絵となり、新聞に載ったため、故里の三条では、この有名な信秀が三条の出身である事を知って三条へ帰るように働きかけ、いよいよ故郷に錦を飾る事になるのです。これ程赫々たる名誉を担った信秀が、どういう訳か三条では、廃刀令後仕事がなく、荒れた飲んだくれの生活をして家族と折り合いが悪くなり、やむを得ず三条へ帰り、ここでも酒びたりの貧しい生活の後、悲惨な自殺を遂げたという通説が伝えられているのです。

私が信秀の事を調べようと思い立ったのはこの点に疑問を感じたからで、その後調べれば調べる程、信秀の自信に満ちた名工としての姿が浮かび、今ではその様な説が間違いであると確信しています。

信秀が三条へ帰った折の親族について述べますと、実弟の新造が古城町(今の信金古城町支店の斜前あたり)に居り、異父弟の駒吉が四ノ町土手に居りました。そして信秀帰省後の第一作と思われるものが福島要吉家に伝わっておりますが、この福島家は昔、三ノ町の今の越佐自転車屋の所において与板屋と言われていましたが、安政時代に火災に逢い家運衰退し、初代要吉は江戸へ商用に出て悲運の内に客死します。その後、妻貞子が後に福島家中興の祖とされる成功を得ますが、信秀が三条へ帰省した明治7年夏、信秀60歳、貞子46歳にあたり、実は信秀の母の生家は池氏ですが、この貞子も池氏の出身で信秀の従姉妹に当りました。そんな事から信秀帰省の第一作目が、福島家に伝わっていたと思われます。他に貞子の兄、池氏の後継者の



清之助が由利に居ましたが、この人は放蕩で平家の重臣の血縁といわれており、池氏はこの代で断えてしまいます。

信秀は三条へは弟子を連れず一人で帰りますが、注文により作刀する事となり、庖丁鍛冶の米田兄弟に向う槌を頼みます。この兄の孫助が昭和10年93歳まで生きており、この人の居る内は、自殺説等無かったと子孫の方は伝えています。

会員家族紹介： 斎藤弘文会員

妻、昌子との結婚生活21年間の、涙ぐましい必死の努力にも拘らず、中国の国策にそった様に1人っ子です。

直人、43年3月生まれ、現在、早稲田大学理工学部の3年生。目白の田中先生の隣にある「和敬塾」に下宿しております。

写真は今年の正月、久方振りの親子水入らずの姿です。今は父と母との4人暮らしです。



石橋育於会員

お陰様で旭町に店を構えて満3年、私共も今年50歳を迎えようとしております。そして結婚25年になります。何か丁度節目の年のような感じが致します。

これからの人生1年1年商売に家庭に社会に充実した年を送りたいものと願っております。

この写真は開店祝に撮った緊張の一瞬です。

《行事予定》

- 7月3日(日) 県内ロータリークラブ会長、幹事会 於 イタリア軒 AM11:00~
- 7月17日(日) 1988~1989年RA委員長会議 於 イタリア軒 PM13:00~
- 10月30日(日) 妙高高原ロータリークラブ25周年式典 於 赤倉ホテル AM11:30~

次週例会 6月22日 卓話「ある裁判の話」 日戸平太会員

次々週例会 6月29日 会長、幹事慰労会 VIP 玉姫殿 PM6:30~
